

令和3年第1回学校自己評価(生徒・保護者・職員)考察

7月実施

アンケート回答率

	在籍(人)	生徒回収(人)	生徒(%)	保護者回収(人)	保護者(%)
全校	376	331	88.0	207	55.1

1%≒3.3人

1%≒2人

《学校重点目標に準拠した考察》

重点1 1人1台端末等のICTの活用、個に応じた支援、少人数学習等を通して「わかる」授業づくりに取り組む。「誰もがわかる」学力の向上

○私にとって、全体的に授業はわかりやすい(生徒項目1)

○本校では全体的にわかりやすい授業が行われていると思いますか(保護者項目6)

R1 生徒(%)

	A	B	C	D
全校	23.1	61.0	14.8	1.1
	84.0		16.0	
1年	33.0	53.6	11.6	1.8
2年	24.1	63.8	11.2	0.9
3年	13.0	65.0	21.1	0.8

R1 保護者(%)

	A	B	C	D	E
全校	7.3	57.1	15.3	3.8	16.4
E抜き換算	77.1		22.9		
1年	11.2	60.2	10.2	1.0	17.3
2年	5.5	54.9	15.4	5.5	18.7
3年	5.1	56.1	20.4	5.1	13.3

R2 生徒(%)

	A	B	C	D
全校	27.4	60.6	10.9	1.2
	87.9		12.1	
1年	31.6	57.0	11.4	0.0
2年	29.5	58.9	10.7	0.9
3年	21.1	65.8	10.5	2.6

R2 保護者(%)

	A	B	C	D
全校	10.2	68.5	19.0	2.3
	78.7		21.3	
1年	13.5	66.7	18.9	0.9
2年	8.3	77.1	13.5	1.0
3年	8.2	62.2	24.5	5.1

R3 生徒(%)

	A	B	C	D
全校	24.2	66.2	8.5	1.2
	90.4		9.7	
1年	34.7	62.0	3.3	0.0
2年	16.2	72.1	11.7	0.0
3年	19.8	64.6	11.5	4.2

R3 保護者(%)

	A	B	C	D
全校	10.6	69.6	18.4	1.4
	80.2		19.8	
1年	10.3	77.9	10.3	1.5
2年	12.7	63.5	23.8	0.0
3年	9.5	67.6	20.3	2.7

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない E:わからない

生徒、保護者ともにABの数値が年々上昇傾向にある。授業に対する好印象の度合いが進んでいることは嬉しい限りである。

ただし同一集団の経年変化の視点で見ると、今年度の2、3年生のAの数値が下がったことは、課題点の一つである。今後とも個に応じてきめ細かな支援が求められていると理解したい。どの教科でも県の指導主事を招聘して、ICTを効果的に活用したり、個に応じた支援を工夫したりして誰もがわかる授業となるよう授業改善に取り組んでいるところである。保護者アンケートでも2学年・3学年ともにAの数値は安定しているものの、一年前よりもBの数値が減少しCの数値が増加している。授業公開があまりできない中ではあるが、懇談会や学年・学級PTAの折に発信していくよう心掛けるとともに、日々の授業改善に職員一同邁進していきたい。

○家庭学習に毎日取り組んでいる(生徒項目2)

R1 生徒(%)

	A	B	C	D
全校	45.6	35.0	16.0	3.4
	80.6		19.4	
1年	45.5	38.4	13.4	2.7
2年	39.7	35.3	21.6	3.4
3年	51.2	31.7	13.0	4.1

私は家庭学習に毎日取り組んでいます(生徒項目2)

R2 生徒(%)

	A	B	C	D
全校	40.0	37.6	17.1	5.3
	77.6		22.4	
1年	43.0	40.4	13.2	3.5
2年	30.4	40.2	22.3	7.1
3年	46.5	32.5	15.8	5.3

R3 生徒(%)

	A	B	C	D
全校	30.2	47.7	19.0	3.0
	77.9		22.0	
1年	48.8	29.8	19.8	1.7
2年	33.9	42.9	20.5	2.7
3年	26.0	53.1	15.6	5.2

○本校は、お子さんの家庭学習に取り組むための指導はできていますか。(保護者項目8)

R1 保護者(%)

	A	B	C	D	E
全校	10.4	47.1	30.8	8.0	3.8
E抜き換算	59.7		40.3		
1年	10.1	46.5	33.3	6.1	4.0
2年	13.2	44.0	28.6	9.9	4.4
3年	8.1	50.5	30.3	8.1	3.0

R2 保護者(%)

	A	B	C	D
全校	12.0	57.3	26.5	4.2
	69.3		30.7	
1年	15.7	53.0	27.0	4.3
2年	8.3	62.5	27.1	2.1
3年	11.2	57.1	25.5	6.1

お子さんは、毎日家庭学習をすることが定着するための環境(家庭での約束事や学習の手引きの利用等)が出来ていると思いますか。(保護者項目7)

R3 保護者(%)

	A	B	C	D
全校	10.6	55.1	30.0	4.3
	65.7		34.3	
1年	11.8	57.4	29.4	1.5
2年	12.7	47.6	34.9	4.8
3年	8.1	59.6	25.7	6.8

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない E:わからない

生徒、保護者アンケートともに、3年生のAの数値が減少した。同一集団の経年変化の視点で見ても、今年度の2、3年生のAの数値が減少している。本年度作業的な家庭学習から授業に関連した家庭学習へと、質の向上を図っているところだが、まだ不十分なことがうかがえる。

学習指導(職員項目1,2,3,5) A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない

職員(%)

R2

	A	B	C	D
学習問題・課題を板書しているか(課題の明確化)	41.7	45.8	4.2	8.3
	87.5		12.5	
話し合う場面を取り入れているか(情報交換)	29.2	37.5	29.2	4.2
	66.7		33.3	
わかる授業・できる授業の実践(授業改善)	20.8	29.2	41.7	8.3
	50.0		50.0	
授業と家庭学習の連続性(家庭学習の定着が図れたか)	13.6	40.9	36.4	9.1
	54.5		45.5	

職員(%)

R3

	A	B	C	D
学習問題・課題を板書しているか(課題の明確化)	56.5	30.4	13.0	0.0
	86.9		13.0	
話し合う場面を取り入れているか(情報交換)	17.4	65.2	17.4	0.0
	82.6		17.4	
わかる授業・できる授業の実践(ICTの活用や個に応じた学習指導、支援)	17.4	60.9	21.7	0.0
	78.3		21.7	
授業と家庭学習のつながり(家庭学習の定着が図れたか)	4.3	39.1	47.8	8.7
	43.4		56.5	

「話し合う場面を取り入れているか」という項目については、対面にならないように意見交換したり、クラウドで各自の考えを即時共有したりするなど学習形態や方法を工夫しながら学び合いを進めている。また、「わかる・できる授業の実践」の項目では、タブレットや大型テレビを効果的に活用しながら視覚的にわかりやすくなるようにしたり、机間指導で個別に支援したりしている。「授業と家庭学習のつながり」の数値は上げていかなければならない。より良い家庭学習の在り方を職員全員で模索していく。

重点2 保護者、地域、外部機関と連携し、開かれた学校づくりや生徒支援の充実を推進する。
 (「地域とともに」保護者・地域の方々との連携)

○学校・学年・学級だより、ホームページ等で学校の様子をお伝えして

○学校開放日や三中体験授業(新入生向け)を通して、学校への理解や関心が高まっていると思いますか。(保護者項目13)

R1 保護者(%)

	A	B	C	D	E
全校	24.0	65.3	8.0	1.4	1.4
	90.5		9.5		
1年	30.6	60.2	6.1	2.0	1.0
2年	20.9	72.5	5.5	0.0	1.1
3年	20.2	63.6	12.1	2.0	2.0

R1 保護者(%)

	A	B	C	D	E
全校	14.2	66.4	9.3	1.0	9.0
E抜き換算	88.6		11.4		
1年	21.2	61.6	6.1	1.0	10.1
2年	6.6	75.8	11.0	1.1	5.5
3年	14.1	62.6	11.1	1.0	11.1

R2 保護者(%)

	A	B	C	D
全校	27.5	57.5	13.1	1.9
E抜き換算	85.0		15.0	
1年	27.6	60.3	12.1	0.0
2年	25.8	60.8	10.3	3.1
3年	29.0	51.0	17.0	3.0

R2 保護者(%)

	A	B	C	D
全校	14.6	62.9	21.2	1.3
	77.5		22.5	
1年	16.4	61.8	20.9	0.9
2年	16.7	65.6	15.6	2.1
3年	10.4	61.5	27.1	1.0

R3 保護者(%)

	A	B	C	D
全校	20.8	64.7	13.5	1.0
	85.5		14.5	
1年	22.1	64.7	13.2	0.0
2年	19.0	68.3	12.7	0.0
3年	21.6	63.5	12.2	2.7

R3 保護者(%)

	A	B	C	D
全校	12.6	68.1	15.5	3.9
	80.7		19.4	
1年	10.3	70.6	17.6	1.5
2年	12.7	66.7	17.5	3.2
3年	14.9	66.2	12.2	6.8

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない E:わからない

○本校は、保護者や地域の要望に前向きに応えようとしていますか(保護者項目15)

R1 保護者(%)

	A	B	C	D	E
全校	13.9	62.0	9.4	2.1	12.5
E抜き換算	86.9		13.1		
1年	20.6	56.7	10.3	0.0	12.4
2年	11.0	64.8	8.8	1.1	14.3
3年	10.1	64.6	9.1	5.1	11.1

昨年度と比較して、各質問項目においてABの数値が上昇した。コロナ禍で学校開放やPTA活動が実施できないこともあったが、「コロナ禍でもできることを」というスタンスで開かれた学校づくりに取り組んでいることを評価していただいていることは大変ありがたいことである。これからも保護者や地域の方と手を取り合いながら、諸教育活動を推進していきたい。

R2 保護者(%)

	A	B	C	D
全校	14.6	66.2	16.9	2.3
	80.8		19.2	
1年	19.6	61.6	17.9	0.9
2年	14.4	68.0	13.4	4.1
3年	9.1	69.7	19.2	2.0

R3 保護者(%)

	A	B	C	D
全校	15.5	67.6	15.9	1.0
	83.1		16.9	
1年	13.2	72.1	14.7	0.0
2年	20.6	60.3	19.0	0.0
3年	13.5	71.6	12.2	2.7

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない E:わからない

○私にとって、学校の中で進路や生き方について考えたり、学んだりする機会がある(生徒項目7)

R1 生徒(%)

	A	B	C	D
全校	38.0	42.6	16.6	2.9
	80.6		19.4	
1年	27.7	38.4	26.8	7.1
2年	36.2	47.4	15.5	0.9
3年	49.2	41.8	8.2	0.8

R2 生徒(%)

	A	B	C	D
全校	40.0	43.8	13.5	2.6
	83.8		16.2	
1年	30.7	40.4	25.4	3.5
2年	42.9	41.1	12.5	3.6
3年	46.5	50.0	2.6	0.9

R3 生徒(%)

	A	B	C	D
全校	24.5	48.9	24.2	2.4
	73.4		26.6	
1年	13.2	46.3	37.2	3.3
2年	23.2	51.8	21.4	3.6
3年	39.6	50.0	10.4	0.0

○各学年の生徒の実態に応じて、進路(キャリア)学習を行っています。将来の進路について考えることに役立っていると思いますか。(保護者項目10)

R1 保護者(%)

	A	B	C	D	E
全校	9.8	39.6	13.3	1.1	36.1
E抜き換算	77.5		22.5		
1年	8.2	27.6	12.2	1.0	51.0
2年	9.9	39.6	12.1	1.1	37.4
3年	11.5	52.1	15.6	1.0	19.8

R2 保護者(%)

	A	B	C	D
全校	12.3	63.0	22.6	2.1
	75.3		24.7	
1年	11.0	55.0	33.0	1.0
2年	14.4	64.9	16.5	4.1
3年	11.6	69.5	17.9	1.1

○各学年の生徒の実態に応じて、進路(キャリア)学習が役立っていますか。適切な進路選択に役立っていますか。(保護者項目9)

R3 保護者(%)

	A	B	C	D
全校	14.5	57.0	25.6	2.9
	71.5		28.5	
1年	10.3	55.9	33.8	0.0
2年	15.9	58.7	22.2	3.2
3年	17.6	55.4	21.6	5.4

生徒、保護者アンケートともにABの数値が下がった。特に1,2年生では大幅に下がったことから、特別活動を中心に、各学年の発達段階に応じて確実に進路学習を進めていく必要がある。キャリア教育の重要な体験活動の一つである2年生の「職場体験」でも、学んだことや今後の生活に生かしていきたいことなどを生徒が自覚できるように、体験後のまとめや学習の振り返りの時間を充実させていきたい。

重点3 すべての生徒がそれぞれの個性を伸ばし、自分らしく生活することができる学年・学級づくりに取り組む。

○私にとって、学校は楽しい(生徒項目9)

R1 生徒(%)

	A	B	C	D
全校	43.6	33.6	16.5	6.3
	77.2		22.8	
1年	42.0	34.8	18.8	4.5
2年	52.6	29.3	11.2	6.9
3年	36.6	36.6	19.5	7.3

R2 生徒(%)

	A	B	C	D
全校	41.3	42.8	13.3	2.7
	84.1		15.9	
1年	48.2	36.8	13.2	1.8
2年	34.2	48.6	13.5	3.6
3年	41.2	43.0	13.2	2.6

R3 生徒(%)

	A	B	C	D
全校	35.3	44.1	16.6	3.9
	79.4		20.5	
1年	41.3	43.0	13.2	2.5
2年	33.0	41.1	19.6	6.3
3年	30.2	50.0	17.7	2.1

○お子さんは充実した(楽しい)学校生活を送っていると思いますか(保護者項目1)

R1 保護者(%)

	A	B	C	D	E
全校	24.9	60.2	9.7	3.1	2.1
E抜き換算	86.9		13.1		
1年	34.3	56.6	5.1	1.0	3.0
2年	18.7	63.7	12.1	4.4	1.1
3年	21.2	60.6	12.1	4.0	2.0

R2 保護者(%)

	A	B	C	D
全校	30.7	57.8	9.3	2.2
	88.5		11.5	
1年	40.5	53.4	3.4	2.6
2年	25.8	62.9	11.3	0.0
3年	24.0	58.0	14.0	4.0

R3 保護者(%)

	A	B	C	D
全校	35.7	55.6	6.8	1.9
	91.3		8.7	
1年	38.2	55.9	4.4	1.5
2年	31.7	57.1	9.5	1.6
3年	37.8	52.7	6.8	2.7

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない E:わからない

保護者アンケートでABが増加傾向であるのはうれしい限りである。ただし、生徒アンケートでは、昨年度と比較してABの数値が下がった。コロナ禍での不自由な生活ではあるものの、その中でも生徒が楽しいと思えるような教育活動を推進していきたい。また、CDの数値も0ではない。声なき声に応えていける三中でなければ相手の立場になって考える学校とは言えない。一人ひとりに全職員が目をかけ、気にかけて、声をかける三中にしていきたい。

○私はいじめや差別を許さない態度で生活している(生徒項目8)

R1 生徒(%)

	A	B	C	D
全校	42.2	42.5	12.8	2.6
	84.6		15.4	
1年	41.1	44.6	10.7	3.6
2年	37.1	44.0	15.5	3.4
3年	48.0	39.0	12.2	0.8

R2 生徒(%)

	A	B	C	D
全校	49.1	42.6	6.5	1.8
	91.8		8.2	
1年	43.9	48.2	5.3	2.6
2年	52.7	39.3	6.3	1.8
3年	50.9	40.4	7.9	0.9

三中にはいじめや差別をゆるさない雰囲気がある(生徒項目8)

R3 生徒(%)

	A	B	C	D
全校	51.1	41.1	6.9	0.9
	92.2		7.8	
1年	51.2	41.3	6.6	0.8
2年	51.8	36.6	9.8	1.8
3年	50.0	45.8	4.2	0.0

○本校生徒は思いやりのある行動ができていますか(保護者項目5)

R1 保護者(%)

	A	B	C	D	E
全校	5.6	59.4	14.2	5.9	14.9
E抜き換算	76.3		23.7		
1年	8.2	66.3	7.1	3.1	15.3
2年	5.5	42.9	25.3	9.9	16.5
3年	3.0	67.7	11.1	5.1	13.1

R2 保護者(%)

	A	B	C	D
全校	13.6	69.5	14.9	1.9
	83.1		16.9	
1年	18.8	65.2	15.2	0.9
2年	11.5	78.1	9.4	1.0
3年	10.0	66.0	20.0	4.0

R3 保護者(%)

	A	B	C	D
全校	13.5	76.8	9.7	0.0
	90.3		9.7	
1年	10.3	79.4	10.3	0.0
2年	14.3	79.4	6.3	0.0
3年	16.2	71.6	12.2	0.0

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない E:わからない

たった一人の言動で安心・安全な環境は壊れることを考えると、CDの生徒が減っていくように取り組まなければならないだろう。しかし、ここ数年、ABの生徒の割合が大幅に上昇してきたことは大変喜ばしいことである。そのことは保護者アンケートからのDの数値からもうかがえる。現状に満足することなく、一人ひとりを大切にし相手を思いやって行動できるよう、生徒とともに考えていきたい。

○生徒の悩みや相談にのろうとつとめている(職員項目11)

○いじめや差別を絶対ゆるさない指導、雰囲気につとめている(職員項目12) A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない

職員(%) R2

	A	B	C	D
生徒の悩みや相談にのろうとつとめている(職員項目11)	44.0	52.0	4.0	0.0
	96.0		4.0	
いじめや差別を絶対ゆるさない指導、雰囲気につとめている(職員項目12)	76.0	24.0	0.0	0.0
	100.0		0.0	

職員(%) R3

	A	B	C	D
生徒の悩みや相談にのろうとつとめている(職員項目11)	39.1	56.5	4.3	0.0
	95.6		4.3	
いじめや差別を絶対ゆるさない指導に努めている(職員項目12)	82.6	17.4	0.0	0.0
	100.0		0.0	

いじめや差別を絶対に許さない決意で全職員取り組んでいる。欠席状況、遅刻状況、生徒との対話、教室・保健室・相談室での様子など生徒の変化を職員間で共有し、チームで対応策や解決策を考えている。学級担任はもちろん、様々な立場の職員が生徒を見守り、指導し、声かけをしていくよう今後も取り組んでいきたい。

○私にとって、学校生活は安心・安全な(過ごしやすく、危険がない)環境であると思う(生徒項目11)

R1 生徒(%)

	A	B	C	D
全校	38.0	42.3	13.7	6.0
	80.3		19.7	
1年	37.5	45.5	11.6	5.4
2年	40.0	38.3	13.0	8.7
3年	36.6	43.1	16.3	4.1

R2 生徒(%)

	A	B	C	D
全校	35.0	47.6	13.2	4.1
	82.6		17.4	
1年	45.6	46.5	6.1	1.8
2年	29.5	45.5	17.9	7.1
3年	29.8	50.9	15.8	3.5

R3 生徒(%)

	A	B	C	D
全校	32.0	55.3	10.9	1.8
	87.3		12.7	
1年	36.4	50.4	13.2	0.0
2年	28.6	58.0	11.6	1.8
3年	31.3	58.3	7.3	3.1

○学校生活は安心・安全な(過ごしやすく、危険がない)環境であると思いますか(保護者項目4)

R1 保護者(%)

	A	B	C	D	E
全校	17.1	67.2	6.3	3.1	6.3
E抜き換算	90.0		10.0		
1年	26.5	63.3	4.1	0.0	6.1
2年	12.2	64.4	7.8	7.8	7.8
3年	12.1	73.7	7.1	2.0	5.1

R2 保護者(%)

	A	B	C	D
全校	26.8	61.0	10.6	1.6
	87.7		12.3	
1年	35.7	57.4	7.0	0.0
2年	25.0	65.6	9.4	0.0
3年	18.2	60.6	16.2	5.1

R3 保護者(%)

	A	B	C	D
全校	28.5	65.2	5.8	0.5
	93.7		6.3	
1年	17.6	72.1	10.3	0.0
2年	30.2	66.7	3.2	0.0
3年	37.8	58.1	2.7	1.4

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない E:わからない

ここ三年間を見てもABと答えている生徒や保護者の割合は増加傾向にある。ただし、同一集団の経年変化の視点で見ると、2年生のAの数値が減少している。2学年に進級する際のクラス替えも要因の一つとして考えられる。引き続き安心・安全な環境を整備していくとともに、新しい人間関係を築けるよう生徒の自立を支援していきたい。